



テープカットでふるさと便の発送を祝う関係者

7/22

リンドウや 米など全国へ

一関ふるさと便実行委員会

一関ふるさと便「夏の便」の出発式を開き、ふるさとの味と香りが消費者の元へ無事届くことを願い、第1便を発送しました。一関ふるさと便は今年で40年目。一関地域で生産されたリンドウや米、りんごジュース・とまとジュースを全国へ向け発送しました。

8/7

食と農業の重要性を実感



貯蔵瓶の大きさを体感する参加者

「第3回わくわく純情プランター」と「ちやぐりんキッズフェスタ」を同時開催しました。参加した小学生20人が、J A女性部員やJ A青年部員と一緒にJ A藤沢ライスセンターの見学や食と農に関する〇×クイズに挑戦し、J Aと触れ合い、理解を深めました。

7/25

岩渕さんの去勢牛名誉賞 いわて南牛振興協会



計量を終えトラックに積み込まれる岩渕さんの去勢牛

第18回いわて南牛枝肉共励会を開き、名誉賞に岩渕孝彦さん（室根）の去勢牛が輝きました。出品36頭のうち5等級に34頭、4等級に2頭が格付けされ、上物率は100%。岩渕さんの去勢牛は枝肉重量512キ、キロ当たり枝肉単価3004円で販売されました。

8/6

女性の力で畜産盛り上げ



参加者に腹話術を披露する藤野さん

畜産に関わる女性が集まり、意見を交わす初の取り組みとして「牛飼い女子の集い2026」を開きました。酪農、和牛、肉牛の販売価格、飼料価格情勢などを学んだ他、基調講演では藤野静枝さん（大東）が腹話術を披露し、交流を図りました。

8/9

J A組合長賞に橋本さん 藤沢野焼祭実行委員会



賞状を手を受賞を喜ぶ橋本さん

第49回縄文の炎藤沢野焼祭2026が開かれ、市内外から出品された631点の中からJ A組合長賞に黄海小学校1年の橋本美苑さん（藤沢）の作品「ねこのもちゃんのかびん」が選ばれました。橋本さんには、賞状と副賞の「りんごジュース」が贈られました。

8/12

信頼される 米産地目指し

一関地方良質米生産者協議会

令和8年度いわて平泉米生産者大会を開きました。米の生育状況や米穀情勢について報告し、消費者から信頼される米産地確立に向けて意識統一を図りました。大会終了後には全体研修を行い、日本生協連米事業（C・O・P米）について学びを深めました。



あいさつをするJA佐藤一則組合長

8/17

ビールのお供に夏野菜を 一関市



野菜を引き渡す一関市職員⑥

第29回全国地ビールフェスティバルin一関で提供される料理に使用する夏秋野菜を希望する15店舗に引き渡しました。JAでは、来場客に一関市の夏秋野菜をPRし、販売促進につながることを願い、トマト・ピーマン・キュウリ・ナス計116箱を提供しました。

8/20

長寿と健康願って枕作り ハートフル花祭



枕を作り上げる支部員

花泉町内で米寿を迎える住民に使用してもらうため、支部員25人が健康と長寿を願い、そば殻が入った枕85個を作りました。後藤和子支部長は「形の良いう枕をたくさん作ることができた。皆さんの手に届くのが楽しみ」と心弾ませる様子を見せました。

8/20

野生獣対策の注意点学ぶ JA東山稲作部会



小野寺さんの講演に注目する参加者

農作物被害防止対策研修会を開きました。岩手県農林水産部の小野寺理さんを講師に、参加者50人は、野生獣の特徴や対策について学びました。小野寺さんは、「野生獣は学習能力が高いため、さまざまな対策を総合的に使うのが大事」と説明しました。

8/19

巨大スイカに驚き隠せず



スイカの大きさに驚く千葉さん

千葉トシコさん（花泉）の畑で、直径36センチ、重さ18キに及ぶ、とても大きなスイカが収穫されました。千葉さんは「特別な世話もせず、自然とここまで大きく成長した。初めてのことでとてもびっくりしている」と、驚きを隠せない様子を見せました。